人生会議
楽しく学ぶ
第３弾!!

在宅医療介護連携推進事業　多職種連携交流会

支援者のためのACP（人生会議）

「手引き」から思いをつなぐヒントを得よう！

今までの研修参加者のみなさんの声を参考に
湖北地域の支援者のためのACPの手引きを作成しました。
当日配布の手引きに基づいて講義をします。

日時

参加者の声を
裏面に載せています

2026年

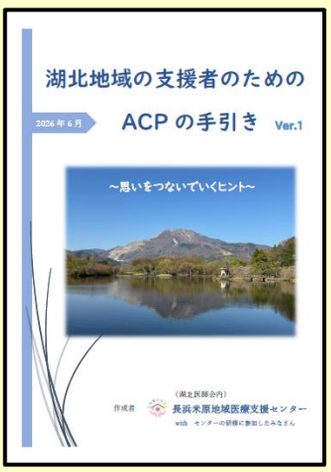
- ~~6月17日（水）~~
- ~~8月21日（金）~~
- ~~10月20日（火）~~
- **12月３日（木）**
  14：30～17：00

追加開催します！

都合がつかず参加できなかった方、
やっぱり参加してみたいという方、
今年度最後のACPの研修となります。
支援者の方どなたでも、ぜひ参加ください。

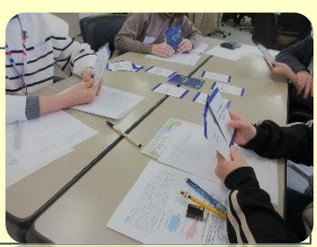
内容

- 人生会議の基本
- ACPの実践に向けて
- ACPのすすめかた
- コミュニケーション技術
- ACPをつなぐために
- 住民への啓発について
- 支援者の資質向上のために



研修後半は、おなじみ交流の場
ほっこりつながりタイムもあるよ

同日　13：20～14：20　「もしバナゲーム体験」の時間もつくりました。
仲間とともにカードゲームをしながら、人生の最期にどうありたいか
自分自身のことを深めていくことで、支援の理解につながります。
未体験の方はもちろん、ふたたび経験したい方や、体験だけをご希望の方も大歓迎です!!
（同じQRコードから申し込みください。）



会場：　メディサポ2階（長浜市宮司町1181－2）

対象者：湖北地域の医療・介護・福祉関係者

主催：長浜米原地域医療支援センター

電話またはQRコードより申し込みください

TEL０７４９－６５－２７５５（平日9：00～16：00）

研修参加者に当日配布の「ACPの手引き」に基づいて講義をしています。
6月・8月・10月に参加68人の方のお声です。（アンケートより一部抜粋しています）

【今回の研修全体の感想】



・ACPの意義やその本質を学ぶことができた。
説明も非常にわかりやすかったです。

・今度事業所でACPの取り組みを行っていきます。
とても参考になりました。

・“きっかけづくり”をキーワードとして、
自分も行動していきたいと思いました。

・ACPにまつわる多職種研修会に初めて参加させていただきましたが、
実りある時間、出会いの場となりました。

手引きの項目と講義内容	これからどのように活かしていきたいですか　（感想ふくむ）
1章　ACP（人生会議）の基本 1．ACP（人生会議）とは 2．意思決定支援に関わるガイドライン	・ACPについて聞かれた時、答えられるよう振り返ることができた。 ・それぞれのガイドラインのQRコードがまとめてあるので、手引きとして、とても重宝すると感じている。内容を確認したい。 ・ガイドラインを印刷して、職場の研修にとり入れたい。
2章　ACPの実践に向けて 1．ステージに応じたACPの対象 2．人生の最期に至る軌跡 3．意思決定支援のプロセス	・ACPの対象について、実際にどの段階にいるのか確認して、コミュニケーションをとりながら支援していく必要がある。 ・第1段階・第2段階・第3段階の間をどうつなぐかを考えていきたい。 ・健康状態、疾病ステージの説明がわかりやすかった。人生の最期の軌跡にあわせてACPを考えることを学んだ。
3章　ACPのすすめかた	・ACPの重要性が対話であると学ぶことができた。 ・心の準備段階におられない人がいることを理解する。 ・ACPシート活用したい。 ・ひとつでもできるところから聞いていく。意識してアクションをおこしていこうと思う。
4章　コミュニケーション技術と ACPの具体的な会話例	・会話例がありわかりやすい。参考にしたい。 ・会話例を自分の言葉に変えて使用する。経験を積む。 ・グループワーク（ロールプレイ）はとてもよい。 ・相手に自分は理解者だと認識してもらえるように、圧のないコミュニケーション、目的をもってを心がけようと思った。
5章　ACPをつなぐために	・チームづくり、つないでいくことが大事だと感じました。 ・支援者間でお互いの強み弱みを理解して、本人の思いをつなぎ合わせられるように意識していきたいと思った。
6章　住民への啓発について 1．啓発資料の活用 2．出前講座の活用 3．在宅看取りを支えるためにできること	・人生会議の内容が漫画でわかりやすかった。 ・チラシ等で啓発していけたらと思います。 ・訪問時に「皆に配布して聞いています」と、チラシをきっかけづくりにしたいと思う。 ・大切な人へ伝えたいノートの紹介 ・在宅看取りのリーフレットは活用できそうです。
7章　支援者の資質向上のために 1．もしバナゲームの体験 2．こんなときどうしたらいいの？ 3．ACPの評価と振り返り	・もしバナゲームは、自分の思い、他者の考えの違いから、価値観の違いを気づけた。 ・職場でもしバナゲームを行ってみたい。 ・分析ツールの活用に興味をもったので、勉強してみたい。
手引き全体（全30ページ）	・いい手引きなので、より多くの人にわたるといい。定期的に研修の機会があるといいと思う。 ・細かく記入してあったので、知りたいことがわかってよかったです。 ・持ち運びできるようにポイントを書いているようなものがあるといい。

参加いただいた方、ありがとうございました。
今後も参加者のみなさまの声を参考にバージョンアップをめざしていきます。